

授業科目	精神保健福祉援助演習Ⅱ（2019年度入学生・A）				単位	1		
履修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21308J		
開講年次	3～4	開講時期	三期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	高口 恵美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握することが必要である。その上で、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につけることを目的とする。また、実務家教員として、精神保健福祉領域や学校臨床領域等で経験した事例を基に、総合的かつ包括的な相談援助、医療との協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助について体系的に取り上げる。個別指導並びに集団指導を通して、擬態的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態で行う。</p> <p>必要に応じmeetを使用したオンラインによる双方向の授業形態を用いる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について理解する。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について理解する。 3. 専門的援助技術として概念化し実践場面の中で活用できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	0	0	80	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			10				10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)						20	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)						5	5	
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)						20	20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について関心を持ち、理解した上で、他者に説明することができる。また、現実の生活を想像し、考えられるニーズについて整理することができる。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について習得し場面に応じて実践することができる。 3. 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について理解している。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について理解している。 3. 専門的援助技術として概念化し実践場面の中で活用できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 授業の概要や演習の進め方などについて、説明する。	演習	授業内で提示します。	
2	第2回目以降、各回に設定した事例を題材として、相談援助場面及び相談援助の過程(インテーク、契約、アセスメント、プランニング、支援の実施、モニタリング、効果測定と支援の評価、終結とアフターケア)を想定したグループ討議及びロールプレイング等を用いて、アウトリーチ、ケアマネジメント、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発等の実技指導を行う。 事例:社会的排除	演習	授業内で提示します。	
3	事例:貧困、低所得、ホームレス	演習	授業内で提示します。	
4	事例:退院支援	演習	授業内で提示します。	
5	事例:地域移行・地域生活継続	演習	授業内で提示します。	
6	事例:ピアサポート	演習	授業内で提示します。	
7	事例:地域における自死(自殺)	演習	授業内で提示します。	
8	事例:ひきこもり	演習	授業内で提示します。	
9	事例:児童虐待	演習	授業内で提示します。	
10	事例:薬物・アルコール依存	演習	授業内で提示します。	
11	事例:教育、就労(雇用)	演習	授業内で提示します。	
12	個別面接による実習の事後指導を行う。	面接	授業内で提示します。	
13	精神保健福祉援助実習後に行う。 テーマ:精神科リハビリテーションについて	演習	授業内で提示します。	
14	精神保健福祉援助実習における学生の個別体験の一般化を図るために、グループ討議を行う。	演習	授業内で提示します。	
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	これまで受けた授業内容について、復習し知識及び技術の確認を行う。精神保健福祉援助実習での体験を振り返り、各自が感じたこと、考えたこと、疑問に思ったことなどを整理して演習に積極的に参加する。			
テキスト	なし。必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	精神保健福祉領域のみならず、社会問題への関心を高め、様々な情報にアクセスして、理解を深めるようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	その他の評価として、記録、授業態度、ディスカッション時の積極性、考察内容などを総合的に評価します。			

